

求人情報

■初任給 207,310円～
 ■福利厚生 社会保険完備、従業員持株会、慶弔見舞金制度、社内懇親会など
 ■休日休暇 週休2日制(土・日曜)
 ※祝日がある週は土曜出勤あり、夏季、年末年始休暇、有給休暇、年間休日113日

■職 種 営業職、編集職(編集・制作・ライター)
 ■インターンシップ受け入れ/あり(要相談)
 ■大学生アルバイト受け入れ/なし
 ■採用担当者連絡先 TEL/022-714-8311
 (株式会社ユーメディア内)

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

■設 立 1972年5月
 ■代 表 今野勝彦
 ■資 本 金 7,000万円
 ■従業員数 38人
 (男23人/女15人)
 ※株式会社仙台シイエフエム含む

〒984-8516
 仙台市若林区土樋103
 TEL/022-266-0911
 FAX/022-266-0913
<https://www.pressart.co.jp/>

株式会社プレスアート

地域情報誌の出版、メディア・媒体事業/セールスプロモーション事業/コミュニティ放送事業



1 自らが携わった媒体や事業に誇りを持ち、いきいきと日々の業務に励む社員たち。2 『プレスアート』では、自社以外のあらゆるメディアとの連動が可能。「お客様にとって最良の解決策とは何か」を突き詰めて熟慮し、オンリーワンの施策を企画・実施することができます。3 セールスプロモーション事業の制作事例の一部。自社媒体とコラボした自治体や企業のガイドブックやイベントの印刷制作物等、さまざまな実績がある。4 定期刊行物や臨時増刊の別冊等、豊富な発行実績のある自社出版物。5 『S-style』『Kappo』の編集長はいずれも女性。柔軟でしなやかなマネジメント力、豊かな実績に裏付けされた発想力が媒体に息づく。6 「読者の皆さんや企業・自治体のお客様など、地域の皆様に支えられて今の『プレスアート』があります」と話す今野勝彦代表取締役社長。

時代が求める新鮮な情報で 宮城県のマスメディアをリードする



またグループ企業との協働によるシナジー効果も大きい。コミュニティエフエム『ラジオ3』を運営する『株式会社仙台シイエフエム』、印刷ほか多様なメディアでプロ

3つの力が企業の強み

同社の事業には、大きく3つの特徴がある。長期間媒体を発行することで醸成された「ブランド力」。その間に蓄積され、磨かれてきた「編集力」。そして顧客の要望に柔軟に 대응される「対応力」だ。これらが三位一体となり、同社の事業を強力に推進してきた。

長年磨いてきた
3つの力が企業の強み

情報(S-style)』を創刊して以来、40年以上にわたり地域に密着した旬の情報を届けている『株式会社プレスアート』。「お金を出してでも欲しい」と思ってもらえる情報でなければ、私たちの存在価値はないと考えています。地元にいるからこそ得られるレアな情報、地元の人々が驚くような新鮮な情報を発信していることが弊社の強みではないでしょうか」と今野社長は話す。

地域密着の情報誌を
40年以上にわたり発行

1975年、全国2例目のタウン誌『月刊せんだいタウン情報(現・せんだいタウン)』を創刊して以来、40年以上にわたり地域に密着した旬の情報を届けている『株式会社プレスアート』。「お金を出してでも欲しい」と思ってもらえる情報でなければ、私たちの存在価値はないと考えています。地元にいるからこそ得られるレアな情報、地元の人々が驚くような新鮮な情報を発信していることが弊社の強みではないでしょうか」と今野社長は話す。

地元宮城で圧倒的な知名度を誇る情報誌を刊行する『株式会社プレスアート』。読者へ届ける出版物だけでなく、魅力的な職場環境づくりにも力を注いでいる。

28

モーションを展開する『株式会社ユーメディア』と連携し、成果の最大化を図っている。

魅力あるコンテンツを 読者に届ける出版事業

メディア・出版事業では、仙台・宮城でリーチ数NO.1を目指す月刊タウン情報誌『せんだいタウン情報S-style』や、大人のためのプレミアムマガジン『Kappo 仙台闊歩』という定期刊行物をはじめ、温泉・グルメ・おでかけ等カテゴリーに特化した臨時増刊を発行。各媒体に紐づくWebサイトやSNSの活用により、イベントやキャンペーンなどタイムリーな情報発信も行っている。豊富な実績とデータに基づき、新たな切り口で地域の情報を紹介するマーケティング志向の編集業務。そして顧客の課題を、媒体内の広告を活用して解決へと導く営業業務の両輪で、価値の高い情報の発信を行うのがこの事業だ。

顧客の課題解決を図る セールスプロモーション事業

もう1つの主軸事業が、セールスプロモーション事業



社内交流を促進し、事業を活性化

「すべては人のつながりが基本」と考える同社では、社内コミュニケーションを促進する施策が豊富だ。全社員が出席するパーティを年数回開催し、1年間の成果を発表する場や表彰なども行われる。

定期的な指導で新人の成長をフォロー

新卒採用社員のOJTは、事前研修での挨拶やビジネスマナーから始まり、現場配属後も具体的な業務を1から丁寧に指導。3ヵ月に1回の振り返りで次の目標を設定し、さらなる成長を促している。

28

華やかな「情報発信」の現場を支える社員の真剣勝負



一見華やかな編集職だが、膨大な情報の精査や書き上げた原稿の校正等、地道な業務も重要だ。



顧客のニーズをつかみ、二人三脚で解決策を導く営業職。顧客との信頼関係の中に仕事の喜びが感じられる。



頭の中にあるイメージをカタチにする過程は、制作の中でも楽しくかつ難しい、やりがいのある業務だ。



編集スタッフは企画・編集はもちろん、取材も撮影もこなす。どのスキルも入社後学べるので安心だ。



『ラジオ3』のスタッフは企画・編成を行うほか、自ら番組を持ちマイクの前に立つこともある。

サポーターも加わって、地域に密着した個性豊かな番組を発信している。

新入社員も女性も活躍できる職場環境

「新入社員には、『せんだいタウン情報S-style』の編集や営業業務を担ってもらうことが多いです。事業の根幹をなす媒体でキャリアを積んで、弊社独自の視点や考え方を養った後、さまざまな部署で活躍してほしいと考えています」と今野社長。新入社員はOJTトレーナーである先輩社員につき、具体的な業務を一から学ぶ。1〜2年の経験を積んだ後、媒体の企画立案を担ったり、責任ある業務も任されるようになるという。

女性の活躍も著しい。現在、『せんだいタウン情報S-style』『Kappo 仙台闊歩』の編集長はいずれも女性で、企画の立ち上げからスタッフの配属、予算管理まで一切のマネジメント業務を担っている。

安心して働くための さまざまな施策を実施

「社員の満足度UP」は同社が追求する目標のひとつ。

たとえば、育児中の女性も時短勤務で働けるよう配慮した両立支援制度、バースデーホリデー、社内コミュニケーションを促進するパティの実施や社員イベントへの補助金支給等だ。また、社員からの声を吸い上げ、社内環境改善に反映させる3つの委員会活動も活発に行う。現場からの意見がボトムアップで導入され、実質的な改善につながった事例も少なくないという。

地域とともに歩み 発展する企業を目指して

2021年に50期を迎える同社は今、さらなる事業推進を目指す「50期プロジェクト」を実施している。東日本大震災以降、実売部数が増加し続ける出版事業、そして顧客からの要望が順調に推移する好調なセールスプロモーション事業。この2本柱をより発展させ、仙台・宮城ですます存在感を発揮していく企業として、今後も地域とともに歩いていく方針だ。



即時性のあるWebを活用し、 特性別に媒体を使い分ける

『せんだいタウン情報S-style』は保存性が高く、良質なコンテンツの掲載に向いた紙媒体。一方、本誌のWeb版である『日刊せんだいタウン情報S-style Web』では、イベントやキャンペーンの情報をオンタイムで発信。メディアを使い分けながら、効果的な情報発信を行っている。



「打合せ時間」から 考える働き方改革

限られた勤務時間を効率的に使うため、打合せは長時間にならないようスタンディングで行うことも多い。「すぐに集まれる」「立っていると頭がすっきりする」等メリットは豊富。